

SDGsについて考えてみよう

第4回
全12回連載

目標13 気候変動に具体的な対策を

宗田 鯉(そうだ かつお)です。イニシャルからSDGs君と呼ばれています。SDGsを良く知り、業務に生かすのが目標です。



二次元コードも活用ください。



第2回から、日本製紙グループに関わりの深いSDGsの目標を順次取り上げています。今回は、目標13「気候変動に具体的な対策を」について説明します。



目標13 「気候変動に具体的な対策を」とその背景

〈目標〉
気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



SDGsは目標とターゲット(具体的な目標)から成ります。目標13の全文はこちら。
<https://bit.ly/2KG7Lb> (PDF)

〈ターゲット(当社グループの事業に関係するものを抜粋)〉

- 13.1 気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)と適応能力を強化
- 13.2 気候変動対策を国別の戦略及び計画に盛り込む

コラム1

〈背景〉

厳しい干ばつや頻繁な台風到来、異常気象や海水面の上昇など、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量の増加による気候変動は、私たちの生活に深刻な影響を与えます。そのため、温室効果ガスの排出を抑えること、気候変動による異常気象に適応すること双方の面での取り組みが世界規模で求められています。

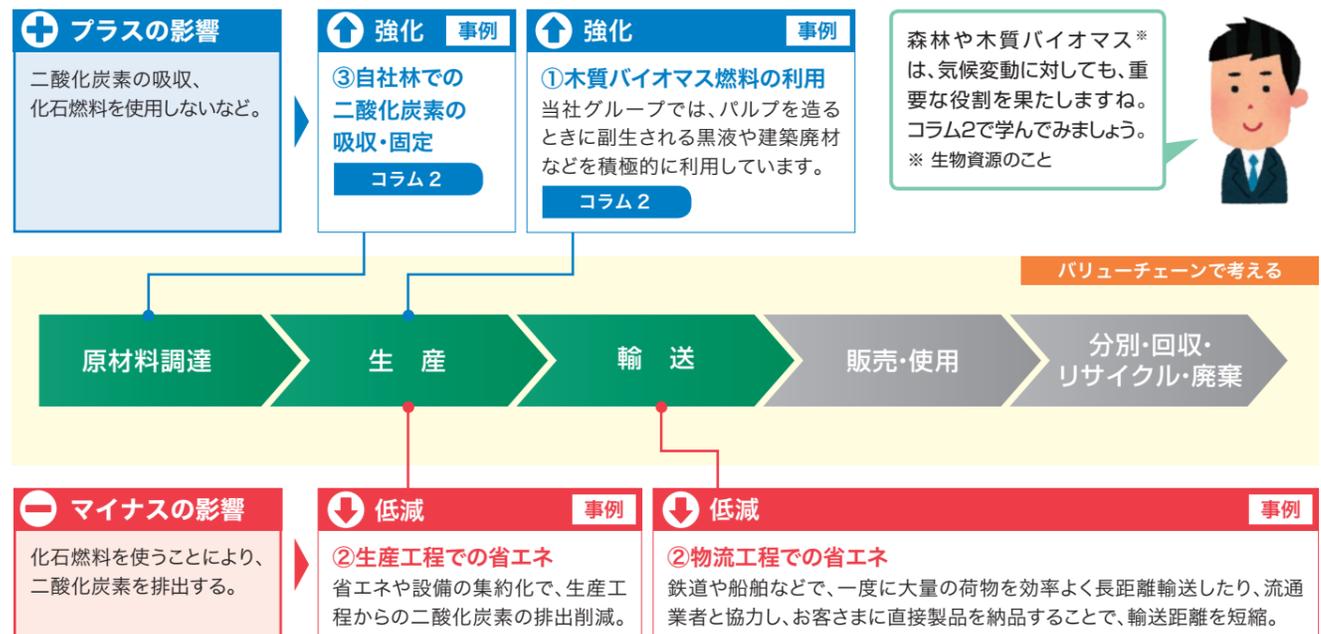
コラム1で13.1の適応についても考えてみましょう。



日本製紙グループの取り組み

当社グループは、環境憲章の中で「地球温暖化対策の推進」を明記しています。取り組みとして、①化石から非化石への燃料転換、②生産・物流工程での省エネルギー、③自社林での二酸化炭素の吸収・固定を進めています。バリューチェーン*の中で、どのような取り組みが該当するか、一例を示しました。

* 製品またはサービスの形式で価値を提供するかまたは受け取る、一連の活動または関係者の全体



コラム1 気候変動対策: 緩和と適応

気候変動への対策は、大きく分けて緩和と適応の2つがあります。

- ① **緩和策**: 温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を抑制すること
 - ② **適応策**: 既に起こりつつある、あるいは起こり得る温暖化の影響に対して、自然や人間社会の在り方を調整すること
- ここでは、当社グループの製品が気候変動の適応に役立っている例をご紹介します。

都市の気温上昇に対応(ヒートアイランド対策も含む) 壁面緑化用の資材の販売(13.1)

日本製紙は種苗会社の株式会社サカタのタネとともに、都市の気温上昇対策に有効な壁面緑化*の資材を、耐水性の高い紙(製品名: シクラバック)で造っています。不要になった際にリサイクルが可能で、軽量かつ加工が容易な資材として好評を得ています。

* コンクリートの建物の壁面を緑化することで、日射を遮るとともに、植物の蒸散作用によりコンクリートの壁面温度の上昇を抑制



シクラバックによる壁面緑化の土台



サカタのタネの壁面緑化システム(アークアヴェール)に使用

コラム2 森林・木材の働き(気候変動対策の視点から)

ほくは炭素。大気中で酸素と結合して二酸化炭素になると、気候変動の原因になるけれど、森の中では植物がほくたち(二酸化炭素)を吸収するので、気候変動を防ぐことにつながるよ。気候変動対策の視点から、ほくと森林・木材の関係について紹介するね。



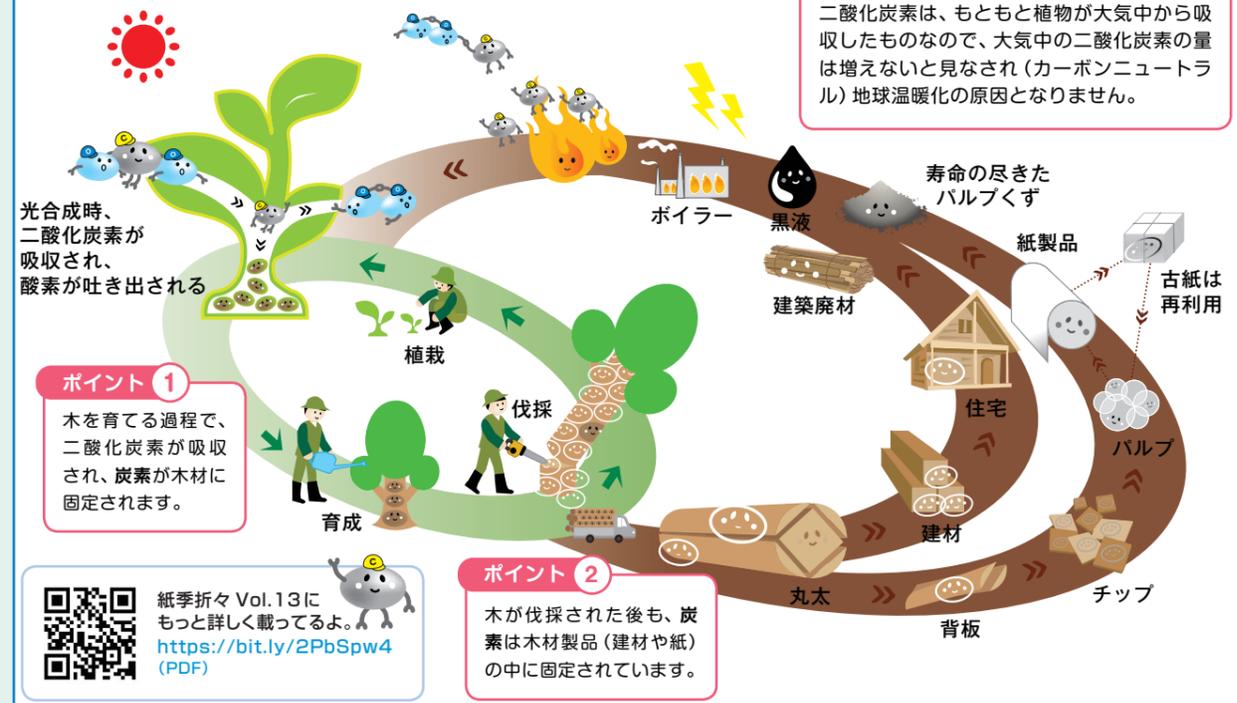
二酸化炭素(灰色が炭素、水色が酸素)

分かりやすいように、今回は炭素くんたちに、ご登場いただきました。



ポイント3

役目を終えた製品や、生産時の副産物は燃料利用され、炭素は二酸化炭素となり、大気中に戻ります。化石燃焼とは異なり、発生した二酸化炭素は、もともと植物が大気中から吸収したものであるため、大気中の二酸化炭素の量は増えないと見なされ(カーボンニュートラル)地球温暖化の原因となりません。



紙季折々 Vol.13にもっと詳しく載ってるよ。
<https://bit.ly/2PbSpw4> (PDF)



他にもどのようなプラス/マイナスの影響があるか、業務を振り返ってみましょう。SDGsに貢献するには、それらをどう強化/低減していくかを考え、取り組みにつなげることが重要です。皆さんからのご意見を募集しています。WEBアンケートにご協力ください。



<https://bit.ly/2P9DcMr>